

スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン募集
「スローガン」入賞作品

最優秀賞

「暴力0(ゼロ) 心でつなぐスポーツの絆」

栃木県 高橋 祥子(たかはし さちこ) 女性 43歳 中学校教員

優秀賞

(主催団体賞 5点)

日本体育協会: 「思いやる 心も育む 指導力」

神奈川県 小梨 茂(こなし しげる) 男性 61歳 無職

日本オリンピック委員会: 「情熱は 暴力なしで 伝えよう」

千葉県 永井 一枝(ながい かずえ) 女性 56歳 主婦

日本障害者スポーツ協会: 「スポーツに あってはならない 拳の制裁」

大阪府 片岡 正教(かたおか まさたか) 男性 28歳 助教

全国高等学校体育連盟: 「体罰根絶! しない させない 許さない」

東京都 三田 清一(みた せいいち) 男性 60歳 高等学校校長

日本中学校体育連盟: 「熱くあれ 指導は的確 冷静に」

栃木県 大平 健一(おおひら けんいち) 男性 40歳 中学校教員

<参考>

募集期間: 平成25年5月10日(金)~31日(金)

応募総数: 1,479作品 この内、全国高等学校体育連盟に寄せられた作品は190作品でした。全国高体連では、この190作品すべてについて、5団体共通の採点基準に則り、外部委員を含めた11名で採点した結果、上記「体罰根絶! しない させない 許さない」が最高点であったので、全国高体連の優秀賞としました。残念ながら今回入選できなかった中にも、素晴らしい作品が数多くありました。ご応募いただいたすべての皆様、本当にありがとうございました。